

第52回 岐阜県医学検査学会

平成26年3月23日(日)

飛騨・世界生活文化センター(飛騨地区担当)

学会長 大江 伸司(高山赤十字病院)

★ 日程 ★

一般演題(13演題)

ランチョンセミナー(2題)

市民公開講座

「こころのケア～いさぎよく生きるコツ～」
大下 大圓先生(飛騨千光寺住職)



3月23日ようやく春の息吹が感じられる飛騨高山で、技師会馴染みの飛騨・世界生活文化センターを会場に第52回岐阜県医学検査学会が開催されました。3連休の最終日でもあり東海北陸道のスキー客による渋滞が懸念されましたが、会員および賛助会員107名、一般市民19名、合計126名のご参加を頂き、盛況に終えることができました。

会員発表は13題あり期待していた若い技師の発表も多く、いずれの演題にも質疑が活発になされ関心の高さが伺え感銘いたしました。また、ランチョンセミナーは、生理検査部門と検体検査部門の2メーカーにそれぞれ20分間の持ち時間でしたが、簡潔にまとめた分かりやすい内容で講演をしていただきました。

市民公開講座は、お寺の住職であり、医療と深い関わりをもって、大学では死生学、スピリチュアルケア、臨床宗教学などの教鞭をとっておられます大下大圓先生に、こころのケア～いさぎよく生きるコツ～と題してご講演いただきました。医療に携わる私たちも大小少なからずストレスを抱えています。そのこころのケア(スピリチュアルケア)に瞑想療法の活用を訴えられました。また、私たちはどうしても患者さんを上からの目線で対応してしまいがちですが、車イスの患者さんでしたら、しゃがんで同じ高さの目線で接すること等接遇面を交えてのお話下さり大変奥の深い内容で有意義な講演でした。最後に、昨年6月より準備委員会を立ち上げ、ご尽力頂いた飛騨地区実行委員を始め、当日協力いただいた飛騨地区会員、座長、広告協賛企業の皆様に心より感謝申し上げます。

学会長 大江 伸司(高山赤十字病院)

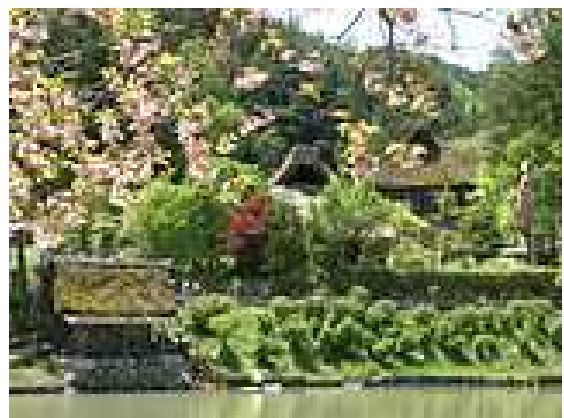
第52回岐阜県医学検査学会に参加して

高山赤十字病院 倉家 淳

第52回岐阜県医学検査学会は飛騨地区が担当し、平成26年3月23日(日)に飛騨・生活文化センターにて開催されました。学会前日までは飛騨地方では雪が降っており、学会当日も寒さが残る日でした。私は、生理機能分野で一般演題を発表するため、また学会スタッフとして参加しました。一般演題は、締め切り延長することなく13題の登録があり、症例報告・検討・チーム医療・院内感染対策など様々で、多くの方が県学会を学会発表の登竜門ととらえ、発表内容は充実したものでした。私は、閉塞性肥大型心筋症の経過観察中に心肺停止を来した症例として発表させていただきました。どの演題も活発な質疑応答で会場は盛り上がり寒さが吹き飛んだのではないのでしょうか？

市民公開講座では飛騨千光寺住職 大下 大圓 先生に「こころのケア～いさぎよく生きるコツ～」と題して御講演いただきました。先生の体験を交えて、医療・福祉・緩和ケアなど非常に広い分野に渡って、とてもわかりやすい言葉で教えて下さり心に残りました。今回、この学会に参加して他の施設の様子などを聞き、新しいものの見方や考え方が出来ました。これから今回知り得た情報を役立てていきたいと思います。

最後に、学会の運営に御尽力いただきました学会実行委員の皆様、そして、このような機会を与えて下さった部長、技師長をはじめ検査部の皆様に感謝いたします。本当に有り難うございました。



平成25年度(第2回)岐阜県臨床検査技師会 定期総会

平成26年3月23日 飛騨・世界生活文化センター

平成25年度第2回定期総会を終えて

岐阜県臨床検査技師会 会長 北村 顕

本総会は、平成26年3月23日に、飛騨世界生活文化センターで開催されました。平成26年度事業計画案及び平成26年度予算案を総会議案書に従い会員の皆様に審議していただきましたところ、全ての議案に対して承認していただきました。承認いただきました事業計画、予算計画に基づきまして「岐阜県臨床検査技師会への5つの提言」に従い節約を念頭に、会員皆様のための技師会活動を目指していく所存でございます。

会員の皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

事業内容

一般社団法人認可後の管理運営 精度管理事業部の事業推進
研修会、研究会、講習会の開催 関連学会への積極的な支援
岐阜県臨床検査技師会誌の発行 岐臨技会報の発行
岐臨技ホームページの充実 地域保険事業への積極的な参加
組織の実態調査 日臨技事業活動への参加



総会に出席の理事 平成26年3月23日(高山にて)



<Gifu>Association of Medical Technologists



副会長

永井 正信

地域保健活動に従事して思うこと！！

この2年間は、久美愛厚生病院の新築移転における検査室の運営課題と遠隔地での定年準備。退職者の再雇用制度における地域保健活動への業務変更と大変忙し時期での任期でしたが、会員皆様方のご支援とご協力により無事終了しましたことを感謝申し上げます。今回は、企業健診及びドック健診に従事して思うことを記述させていただきます。

- 1、特定診・労働安全衛生法・健康増進法を熟知して健康促進事業の活動内容を理解すること。
- 2、営業マンとして企業訪問して、オプション検査への勧誘・価格の提示をして充実した検査項目を整備する。
- 3、検査の専門家として検査項目の説明が出来る技師の育成。
医師・保健師とともに判定会議にコメントができる技師の育成。
- 4、二次精検者の問い合わせから精検率向上を目指し、診療科へのプロデュースができる技師の育成。
- 5、実施項目が、身体測定・腹部/乳腺エコー・視力/聴力検査・眼底・心電図・採血等と多岐にわたるため、多能技師の必要性。

特に検査説明の出来る技師は、現場の保健師からの強い要望であり、日臨技が推進をしようとしている課題です。以上のことから地域保健活動事業は、多くの臨床検査技師が活躍できる場所の一つと考えています。



会計部長

兼子 徹

会計のお楽しみ

私が会計部長を引き受けたのは、忘れもしません…。いつだっけ？まあ、だいたい4年くらい前です。「会議をするから日当と交通費用意してね」と言われたのですが、会計が勝手に出すわけにはいかないでしょうが。会長の決裁は？申請はどうなってるの？申請書は？書式そのものが無い？作るの？今から？そこから始まるのか！——いろいろありましたが、事務員さんのご協力と、会計士さんのご指導で何とか形にすることができたかな。

2期目になったら法人対応の部長さんから「新法人移行申請の会計の部分は会計部長の仕事だからね。ドサッ！」ドサッ！というのは申請の手引書が置かれた音です。分厚いぞ！読み切れないぞ！読んでも今一つよくわからない！紆余曲折はありましたが、法人対応部長さんのご指導で何とか移行申請に間に合いました。

さて、会計のお楽しみは、毎月の会計確認の時のおしゃべりとおやつ。自転車に乗ってまずはパン屋さんへ。私がよく行くのは「ブーランジェリーダダ(岐阜市清本町)」。小さいお店に宝石のようなパンが並んで、血糖値の上がる4年間でした。よく、会計は大変でしょうと言われるますが、おかげさまで楽しく充実していました。ご支援いただきました皆様、本当にありがとうございました。まだまだ、頑張りますけどね。



学術部長 近藤 眞一

学術部長の反省

私と岐阜県臨床検査技師会との関わりは平成7年4月に岐阜地区理事に参加したのが始まりで、岡田 前会長就任時から山城 前会長、北村会長の3会長の下で岐阜地区理事12年・学術部長7年、活動してきました。岐阜地区理事の時は「春季拡大研修会」を宿泊にて長良川ハイツ・全日で県民ふれあい会館で開催しました。この経験を生かして学術部長の業務拡大を行いました。

まず「班長会議」「班長副班長会議」の開催を行い、各研究班長さんへの情報伝達や、研修会企画の検討・審議を行いました。また情報システムの経験を生かし、インターネットで岐臨技学術研修会の案内が確認出来る「学術カレンダー」の運用を平成19年に「携帯学術カレンダー」を平成22年に開始しました。

岐阜県医学検査会誌も不定期発行でしたが、平成22年から毎年発行が可能となり、投稿内容も充実してきました。最近の話題としては平成26年4月から「班長」から「部門長」となり、「研究班名称」も大幅に変更になりました。

新しい企画として「新人サポート研修会」も7月20日に岐阜医療科学大学で全日にて開催します。又、日臨技・都道府県技師会主催「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」も岐阜大学医学部附属病院で11月15・16日開催準備をしています。研修会や行事が多数あり、会員の方々には参加が難しいとは思いますが、各部門長や岐臨技役員も寝る時間や自由時間を削って企画していますので、会員皆様の多数のご参加をお待ちしています。



精度管理事業部長 多和田 嘉明

9年間を振り返って「人生楽あれば苦あり」

私と精度管理の出会いには岐阜県臨床検査技師会理事就任と同時に突然訪れた。それは、当時の委員長であった飯田先生から「精度管理実務委員よろしく」の電話で始まった。全部門を総合的に調査する精度管理体系が確立し、3年目となっていたが、事務所もなく、事務員もいないため会場の確保から案内の発送・受付・集計はもちろんこれらにかかわる印刷物すべてを委員全員で作業していた。ほぼ月1回の委員会に不満を感じつつ、一方で諸先輩の精度管理に対する思い入れに引っ張られ何故か3年目には、実行委員長を請けることとなってしまった。19年度は、幸運にも技師会事務所と事務員が獲得でき念願の会議削減で事業経費と負担を減らせる予定だったが、日臨技標準化事業の開始で願いは、はかなくも崩れ去った。「漁夫の利」とは異なるが楽して利を得たい思いから、受付から結果報告まで一連の作業をシステム化し印刷物はすべて事務員（種村さん）にお願いした。しかし、システム運用開始当初は信頼が得られず悔しい思いをすることもあった。作業効率を上げ経費節約に努力したつもりであったが、プール血清作成など標準化に関わる作業の増加もあって平成22年度には予算が危機的状況に陥った。そのためこの年度は、すべての作業を委員の方々に無償で行っていただき大変ご迷惑をおかけした。それでも精度管理事業が中止とならなかったのは、我々検査技師が最低限しなければならない業務であるとの認識があるからだと思う。平成24年から部長となり日臨技システムJAMTQCの採用を開始した。これでさらに楽ができると思ったが新しいものを使いこなすには、少々時間がかかるようだ。また、新しい事を始めるには少し年を取りすぎた気がする。精度管理委員も……。9年間で定量項目の精度は向上し、参加施設の標準化はほぼ達成できたと思う。そろそろ限界かなあ。10年目は岐臨技の名称も一新され新しいスタートが切られる。5月、さわやかな新緑の風が精度管理部にもそそがれ、もっと**楽しんで**会員の役に立つ事業が今後も継続されることを願ってやまない。



組織調査部長 臼井 信雄

新法人「一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会」へ移行

行政改革のひとつの法人制度改革により、岐阜県臨床検査技師会は一般社団法人に移行しました。移行申請にあたっては煩雑な手続きが必要で、認可されなければ当会は解散しなければならませんでした。

今回の法人移行にあたり、当会の存在意義を考えるいい機会になりました。それは地域の健康増進への参画・協力することで「社会貢献する」。一方で研修会や講習会に参加し、「個人のスキルアップに努める」といったことでしょうか。しかし、今まで私はそのような崇高な志があるわけではなく、何となく在籍しているのが実情でした。

ではいったいどのような利点があるかというと、

- ① 各種研修会開催、新人サポート研修が多く企画されているのでスキルアップにつながる。
 - ② 地元密着型精度管理で手厚い指導が施されている。
 - ③ 各種認定試験の点数加算
 - ④ 技師会を通じた横のつながりで、普段、疑問に思っていることが、気軽に聞ける。
 - ⑤ 地域の健康イベントへの協力で地域の健康増進に貢献できる。
 - ⑥ 各種情報共有（最新情報取得）ができる。
 - ⑦ 技師の地位向上への足がかり
- などたくさんあります。しかし、このような利点も、私たち会員は意欲的に関与参加しなければ意味がありません。これからは是非、積極的に参加していきたいと思っています。



法人対応部長 鈴木 敦

～一般社団法人岐阜県臨床検査技師会としての設立をふりかえり～

旧公益法人(特例民法法人)の5年間の移行期間(期限平成25年11月末)の間に、岐阜県臨床検査技師会においても、一般社団法人へ移行する事となり、平成26年4月1日に一般社団法人岐阜県臨床検査技師会の設立を迎える事ができました。

今振り返ると、会計部長と4年間にわたる苦労を思い出します。最初は、公益社団法人と一般社団法人との相違点や利点・欠点、会計基準の変更など、会計部長と一緒に何回もセミナーに参加し、理解していくのに苦労しました。県医療整備課や法務局にも相談しに行き準備を進めて行く中で、臨床検査技師会としての登記不十分、定款不備が判明したりして、修正手続きに時間がかかりました。電子申請の為、PCにて必要事項を入力するのにも、金額入力の項目は会計部長と2人で声を出し合い確認して入力し、添付ファイルの内容確認・修正を平日仕事が終わってから行い大変だった事を思い出します。

大変ではありましたが、登記簿の事、議事録、定款など色々と勉強になり、今後、スムーズに対処していけると思います。また、皆様からも一般社団法人としての定款や諸規定について色々ご指摘を頂き、修正する事ができました事を、御礼申し上げます。



広報宣伝部長 木村 裕恵

技師会に入会し30年以上たち、この2年間、広報の仕事をさせて頂き技師会の活動の一部を知ることができました。前任者より手ほどきをうけ、会長はじめ各部長・役員の方々・事務所の協力により会報・60周年記念誌を発行できました。研修会には参加していましたが、役員の方々の裏方の活動の大変さを知ることができ、技師会活動があらためて協力により成り立っているのだと思いました。また、上下の関係や横の繋がりができ、仕事面でも大変得る物がありました。是非沢山の方々にこういった経験をして頂いて技師会活動を盛り上げてほしいと思います。

もうすぐ開催！

(一社)平成26年度 春季拡大研修会 / 定時総会

平成26年6月1日(日)午前9時 受付開始!!

大垣市情報工房5階スィンクホール(TEL 0584-75-7000)

※総会終了後 新理事の方は引継ぎがありますので宜しくお願い致します。



お知らせ

岐臨技事務所のメールアドレスが変わりました!

新アドレスは……

giringi-office@giringi.jp